

1 ねらい

国語辞典の使い方に興味をもち、進んで言葉を調べようとしている。【関】

2 学習の流れ

時間	主な学習活動	教師の支援
5分	1 本時のめあてを確かめる。	
	国語辞典の使い方を知り、言葉を調べよう。	
10分	2 「言葉の形」を読んで、形の変化する言葉の調べ方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を確かめる。 ・「言い切りの形」や「変わらない部分（語幹）」で調べることを知らせる。
5分	3 国語辞典の使い方についてまとめる。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の意味、言葉のつかい方、漢字の書き表し方などを知りたいときにつかう。 ・見出し語をさがすときは、「つめ」や「はしら」をつかう。 ・見出し語は、五十音順にならんでいる。 一字目が同じ場合は、二字目をくらべる。 ・見出し語は、「言い切りの形」、「変わらない部分」などで書かれている。 	
5分	4 p.27 1 に取り組み、自分の辞典の見出し語の並び方を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・予想させてから調べさせる。 ・辞典によって、異なることがあることを知らせる。
10分	5 p.27 2 に取り組み、自分の辞典の中から適した語の意味を確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・他にどんな言い方があるか考えさせ、辞典の中の選択肢から適した意味を選ばせる。 ・自分で考える→友達と話し合う という手順で確かめさせる。
5分	6 新出漢字を確かめる。	
5分	7 ふり返りを書く。	

3 評価

国語辞典の使い方に興味をもち、文字や語句を調べようとしている。